

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス リとる・まむ

## 支援プログラム

作成日 2025年 3月 7日

法人（事業所）理念		障害のあるお子様の学校生活や日常生活での自立サポート支援を行い、社会において安心して過ごせる居場所として社会福祉サービス事業に参画する。									
支援方針		身辺自立を促し、「自分で、できた」と喜びの気持ちを味わい自信が持てるようになる。笑顔で、楽しく毎日が過ごせる。保護者と協力し合い、また地域社会とも連携を図り、「困りごと」「生きづらさ」を無くすことを目標とします。									
営業時間		月～土・祝	10時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所到着より、連絡ノート提出・検温・トイレ（排出）・手洗いなどの毎回の決まりごと（スケジュール）を自ら進んでできるようにサポートしながら、日常生活習慣を習得させる。</li> <li>・連絡ノートにより、その日の心身状況を確認し、療育参加を促す。</li> <li>・それぞれの児童の発達段階によって、支援・療育方法を模索し検証を行う。</li> </ul>									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽リトミックにより、体を動かして表現力を養う。</li> <li>①リズム感・身体能力を育みながら全身を動かし歌も歌えるようにする。（ソルフエージュ）②音楽を聴いて感じたことを動きで表現（リズム運動）③自分で考えてその場で何かを表現する（即興）等の三要素の習得の促進を寄与する。スモールステップで、試みる。</li> </ul>									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作（動く）、静止（座る）の切り替えがスムーズにできるようにする。</li> <li>・利用児の特性、発達段階を考えた課題を毎回選択し、認知の形成・構築に繋がります。</li> <li>・個の遊びから、小集団への参加を促し、最終的には、集団参加・行動ができるようになるように育みます。</li> </ul>									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カード、絵本、紙芝居の媒体を使って視覚的なことからや、遊びの中やゲームを通して友だちとのコミュニケーションを培う。</li> <li>・音楽リトミック時に手話も取り入れることにより、手話単語への発展に導き、地域社会への参画の礎・インクルージョンへの入り口としたい。</li> <li>・併せて、自然に英語に興味を持てるように「ABCの歌」等も取り入れる。</li> </ul>									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中でも約束があることを知り、友だちとのやり取りができるようになる。</li> <li>・異年齢児の中での自己の取るべき行動を考えてみる。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニングを組み入れながら、社会生活での日常、ルールも分かるように取り組む。</li> </ul>									
家族支援		ご本人の様子や成長を保護者の方々との連携を密にし、課題に対し話し合い、適切な対処方法を取れる体制を整えていきます。				移行支援		進学の際に必要な時には、それぞれの児童の特性や発達状況の提供やサポートブックの作成をし、情報を提供できる体制作りを構築します。			
地域支援・地域連携		園・学校との情報交換・相談援助、地域の福祉施設・医療機関とは常に連携が取れるような個々の児童に関して、把握する。				職員の質の向上		継続的な研修（OJT）や定期的な（Off-JT）の参加または、面談により、職員の資質向上を図ります。			
主な行事等		季節のイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分）、お出かけ行事（消防署・菜園・ミニピクニック）、クッキング、工作、サーキット等									